



※一般質問の内容は議員自身が2月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和4年2月定例会を選択すると視聴できます。



わかばやし しづこ
若林 志津子

(日本共産党議員団)

小学校へのタブレット導入後の課題について

問 タブレット導入で平常時とコロナ禍での使用に関しての問題点はあるのか。

教育長 平常時は児童生徒の個のペースにあった学習を進め、共同編集や画面共有機能などを活用し協働的な学びを進めて行く。家庭に持ち帰り家庭でも学校の学びを生かし進められる。

問 長時間の携帯使用で携帯依存のような状況がないよう、道具としての使い方が大事であるという観点から、その配慮はあるか。

教育長 アナログとデジタルを行ったり来たりし、両方のバランスをとれる教育が大事で、生身の人間が相対していくことを大切にしたい。

タブレット導入でますます重くなった、ランドセルの重さ解消に向けての取組

問 タブレット(1.5kg)を自宅に持ち帰ること

で、ますますランドセルが重くなっている。フットマークの調査で小学生1～3年生のランドセルの重さの平均は3.97kg。体重の15%ほどの荷物を背負っている。ランドセルの重さの実態を把握しているのか。使用しない物は学校に置いて良いとの指導はされているのか。

教育長 コロナ禍で端末を持ち帰る機会が増え、ランドセルの重さが増えることは承知している。そのため、端末の持ち帰りについて各学校が行っている負担軽減について学年だよりで保護者に連絡する。端末を持ち帰る日は家庭学習で使用しない物は机の中に置く。金曜日は持ち帰る物が多くなるため一層配慮すること。この3点を教育委員会から通知し、各学校に対応するよう指導した。各学校では、教科書やノートなど学校に置いたままで良いという指導をしている。国語・算数以外は基本的に学校保管とし、週末は端末を持ち帰らないなどの工夫をしている。今後もランドセルの重さ軽減のため、各学校で対応の見直しが必要と考えている。



すずき ひろむ
鈴木 弘

(至誠)

富士宮市ゼロカーボン推進戦略について

問 森林民有林による二酸化炭素の吸収量は58.8千tと推計されているが、この吸収量で足りるのか伺う。

部長 温室効果ガス排出量を限りなくゼロに近づけた上で、残りの排出量を森林の吸収量で差し引くことでゼロにする。森林の吸収量に関わる多様な主体との協働による森林整備の推進と里山資源の活用を含めた20の施策を推進することにより達成できると見込んでいる。

富士宮市立児童館(愛称らっこ)の周辺の環境整備について

問 城山公園の施設長寿命化計画について。

部長 ログハウスが計画の対象施設となっている。今後も長寿命化工事と並行してダッグアウト、防球ネット、バックネットの更新や遊具の

設置について検討していきたい。

問 周辺に店舗やサテライトオフィス等ができて、にぎやかになればと考えるがいかがか。

部長 店舗やサテライトオフィスなどができてにぎやかになるということは、経済の持ち直しを後押しすることになるため、非常に興味深い意見であると感じる。子育て世代を中心とする新たな人の流れが地域の活性化にどのように追い風を与えていくのか注視していきたい。

問 登山道沿いを空き店舗対策事業の対象エリアにできないか伺う。

部長 商店街組合がないこと、また坂道ということでふさわしくないかと考える。

意見 城山公園やその周辺は、富士宮市の伝統と歴史を備えた由緒ある公園であると思う。ある意味、富士宮市のシンボリックな場所ではないか。富士宮市立児童館ができたことをきっかけに、その隣にあるシンボリック公園とその周囲がにぎやかでアカデミックないい空間になることを期待している。